

おそだて母 & 妻の泣き笑い

part.27



「鈴木家のこうた」 鈴木 梢さん（鈴木 混太くんのお母さん）

4人兄弟の末っ子のこうた。明るく、よくしゃべるお調子者。兄、姉たちに揉まれながらも甘やかされ、気の弱い典型的な末っ子坊やに。ゆり組になってからは、小学2年の兄の影響で暴れん坊に。頭を抱える日が続き、こうたの変化に戸惑いながらも成長を感じる母です。



家の中では味わう事の出来ない貴重な社会経験を残り少ない園生活でお友だちと一緒に楽しくすごして欲しいです。

「元気の源」 鈴木 久美子さん（高橋 優花さん、琴花さんのおばあちゃん）

孫がふたりとも生後半年になる前からお世話になっています。保育園で覚えた歌や友だちとあそんだ話を聞くのが何より楽しい毎日です。



たまに孫の顔をじっと見ながら、赤ちゃんだった頃を思い出していると「ばあちゃん、なにみてんの？もう…ばあちゃんったら〜」と、言われその言葉に大笑いです。また、何でも同じ物が欲しくてけんかもありますが「じゃんけんしよう」「じゅんばんだよ」と、姉が言うと…「わかった！いいよ〜」と、妹が言って仲良くあそぶ姿に、保育園での様子が垣間見え、先生や友達から様々なことを教えてもらっているのだと実感しています。日々、沢山の愛情を注いで頂き心から感謝の気持ちでいっぱいです。これからの成長も楽しみです。

子どもたちが作る手作りうどん

うどんのレシピ

- 材料（おとな5人分くらい）
- 中力粉・・・500g
 - 食塩・・・12g
 - 水・・・250cc
 - かけ汁はお好みで

（作り方）

- ① 空のペットボトルに塩(12g)と水(250g)を入れて塩がしっかりと溶けるまでよく振り、塩水を作る。
- ② ジッパー袋などの厚手の袋に中力粉(500g)と、①で作った塩水を少量ずつ入れて、ひとまとまりになるようによく捏ねる。
- ③ 耳たぶくらいの柔らかさにまとまったら、袋を二重にし、かかとを使ってよく踏み捏ねる。
- ④ 生地を1時間ほど寝かせたら、薄く伸ばし0.5mm幅くらいに切る。
- ⑤ たっぷりの熱湯で約8分間茹でたら完成。



あのね〜

第30号

2020年3月発行
興道南部保育園
米沢市本町1丁目1-84
0238-21-3756



南部保育園
ホームページQRコード
<http://nanbu.yb-koudou.jp/>



「ワクワクランド」武田 凜さん（5歳児） 「焼き芋わったよ」佐藤 煌彪くん（4歳児）



年長組18人集合

近年、地域に子ども社会が失われつつあると言われています。長時間保育園で過ごす子どもたちも、兄弟姉妹とのかかわりや地域社会で様々な年齢の子どもたちと遊ぶ機会が少なくなっています。

そのことを踏まえ当園では、三・四・五歳児の子どもたちで構成した「異年齢グループ」のかかわりを深めています。また、一・二歳児の子どもたちの生活や遊びを保障しながら「オーブン保育」で安心して生活し、じっくり遊べる環境も整えています。

年長児に憧れる環境を持ち、真似てやってみようとする年中児。年少児が自分でやろうとする姿を側で見守ってくれる年長児。一歳児が手を洗う時に、手を添えて手伝ってくれる二歳児など、様々な場面でのかかわりを垣間見て、微笑ましく感じています。

子どもたちが、友だちや異年齢児そして、周囲の環境にかかわりながら、学びあい、育ちあい、生きる力を身につけていくためには、大人のかかわりや援助はもちろんです。いろいろな子どもたちのかかわりが重要であると考えられます。

地域社会で自然発生的に作り上げられていた子ども集団が希薄になっていく時代だからこそ、長時間保育園で過ごす子ども同士での多様なかかわりが繰り広げられ、豊かな経験や心の育ちが深まっていきたいことを願い、これからも年齢保育に取り組みしていきます。

（編集後記）

「あのね〜」は、おかげさまで今回30号を発行することができました。今年度は、猛暑や度重なる台風、そして暖冬による雪不足など天候に恵まれず、保育園行事にも影響してしまいましたが、保護者の皆様のご理解とご協力をいただきながら、無事に各行事を終えることができました。

屋内外の環境も徐々に変化していく中で、あそびながら自分たち自身が考え、学び、そして伝承していく姿を頼もしく見守っているところです。

本号では、そんな子どもたちや保護者の方々の姿を皆さまにお届けいたしました。今後も、引き続きご協力いただきますよう宜しくお願い致します。

はぐまね 育びあひ

園長 佐藤 和子



今年は、幼児組さんが育てたさつま芋が豊作〜!! 園庭で焼き芋にして みんなでいただきました。

めざせ！ 園庭改革

野育プロジェクト ～第2弾～

「野育（のいく）」で育むこと

- ・ 園庭や公園、地域や自然環境などという屋外空間において、子どもたちが物や人との様々な出会いを通して自ら育っていくこと
- ・ 人間の生涯の基礎を創る重要な時期に、身体や頭を使い心を動かしながらコミュニケーション能力を高めること

子どもたちが自身を楽しめる園庭を目指し、昨年度よりほぼの会役員の方を中心とした保護者の皆さまと職員で園庭の環境づくりに取り組んでいます。昨年度の「東屋づくり」に続き、今年度は築山やベンチ、タワー、三段砂場など続々と完成しました。その製作の様子をご紹介します。



(お礼) 今年も、役員さんはじめ保護者のみなさんの協力により子どもたちがワクワク・ドキドキするような園庭づくりをおこなうことができましたことを感謝しております。
 けやきの木陰でひと休みしたり、土管の中で秘密の作戦会議をしてみたり、築山の頂上で戦隊ヒーローのようにポーズしたり、笑い声が響く楽しい園庭になっていくことを願いながら園庭プロジェクトは続いていきます。

…… さて、来年は？ 第3弾につづく

“みて まねて やって” 学びあう

幼児組異年齢保育を始めて3年になりました。そして、今年度から1,2歳児もオープン保育をおこなっています。あそびや生活など様々な場面において異年齢間のかかわりが見られ、小さい子は大きい子の姿を“見て、まねて、やってみて”少しずつできるようになっていきます。大きい子は小さい子に伝えたり、手助けしてあげたりすることで、自分自身も成長していきます。毎日のかかわりの中で、お互いの育ち合いがたくさん見られています。

0歳児 クラス

今年度の0歳児クラスは、低月齢と高月齢あわせて16名のお友だちが過ごしています。月齢や育ちによってあそびや生活に差があるため、それぞれの子どもの育ちにあった過ごし方やかかわり方ができるようにしています。



登園後、ひとあそびしてから
ちょっと一息
牛乳を飲んで水分とカルシウムをチャージ



棒落とし、型はめ、チェーン落とし、小麦粉ねんど、お絵かき…
様々な手先を使ったあそびに集中しているよ



沢山あそんだ後は、おなかもぺこぺこ
手づかみで、むしゃむしゃ、もぐもぐ
自分で食べるって楽しいね!



大好きな音楽がかかると体をゆらゆら～
それを見て真似っこしています



ケーキだいすき



お誕生会の日のおやつは手作りケーキ
お口いっぱい夢中で食べています



あいさつ

1,2歳児 クラス

今夏から1,2歳児を中心としたオープン保育をはじめました。身支度、あそび、食事、お昼寝を一緒にしていくことで、大きい子は小さい子へ譲ってあげたりお世話してあげたりする姿が見られるようになっていきます。広い園庭あそびをする時は、幼児組さんと一緒にあそぶことで、自分たちもいつかはお兄さんやお姉さんみたいにやってみたい!という好奇心旺盛な子どもたちが多くいます。



こうやるんだよ
ほら、あわあわ
きれいになるで
しょ



ここに、お金入れて
なむなむってするんだよ

これから
み～んまで
おさん園いぎだいと
おもいます



保育者の話し方や上のクラスの子のやる事などを
しっかり見て、真似している姿が何とも可愛らしいです

おしてあげる!!



まだ上手にペダルをこげない1歳児さんを
優しくサポートしてくれる2歳児さん



押入れのすみっこは、
ちょっとした癒しの空間
「コチョコチョ…」「きゃ～っ」
とっても楽しそうに笑ってあそんで
います



幼児組のお兄ちゃんに「だいじょうぶだよ」って
見守ってもらいながら、ゆっくり最後まで登れました



ここ持ってあげるよ

週末にシーツをエコバックに入れて持ち帰る準備を
しますが、まだ慣れない2歳児さん
その様子を見てそっと手助けしてくれる3歳児さん



幼児組さんのおどる姿を何度も見ていて
かっこいいな～と憧れ、自分たちもおどりたい
と、一緒に参加しました



泥団子の土を用意すると「え?それで何するの??」
「泥団子ってピカピカになる、あれのこと?」
と、次々と集まってきて目を輝かせながら夢中になって
作っています



もっと
長くすっぺ!!

つそほ
なけ
て
まーざーて!

4歳児の男の子を中心に
ダム作り開始!
女の子や他のクラスの子たちも
参加して大盛り上がりです



ねえねえ、いっしょにおままごとやろう



じゃぶじゃぶ池で泥水あそびをしていたら、塩ビパイプを使っていつしか草津温泉の湯もみ?をしてみました。
息ピッタリでけらけら笑いながら楽しそう!!



昨年からあった三角テントのような場所は、今は年長さんの秘密基地。今日も作戦会議をしていると「いっしょにあそぼ〜」と年少さんも加わりアウトドアごっこが始まりました。



のぼりたいなあ

今年完成したばかりのタワー。年長さんがコツをつかみ上手に登る姿を見て挑戦してみますが、高さがあって年少さんにはなかなか登れずにちよっぴり悔しそう



幼児組になると活動範囲が広くなり、興味や探究心が一気に増えてきます。活動の内容によっては異年齢のグループに分かれながらの活動と、年齢別の活動をおこなっています。異年齢のかかわりを通して、素敵な年長さんに憧れて教わっていた子も、いつかは教えて見守っていく頼もしい姿に変わっていきます。

3.4.5歳児 クラス



クッキングでは、お手本になってくれたり手を添えて教えてくれたりして頼もしい年長さんです



この辺に植えてみよう



苗の植える間隔を相談する年長さんを4歳児さんたちが「へ〜、その位なんだ!」と見つめています



スノコの積雪に大はしゃぎ!!
パンツまでぐちゃぐちゃに濡らしながら何度もソリ滑りを楽んでいます



ほくが作るからチヨツと見ててね
おいしいごちそう作ってるんだよ!

ねえ、おにいちゃんなにしているの? やくもみていな

木のお家では、クッキング教室が開かれています。年長さんが2歳さんに優しくクッキングの手ほどきをしているようです